

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成26年度 第2回理事会 議事録

日時：平成26年5月14日(水) 13:00～16:10

場所：JBAオフィス 8F会議室

出席：＜理事＞

深津泰彦会長職務代行、丸尾充、梅野哲雄の各副会長、星芳樹専務理事、大山妙子、熊谷秀樹、坂本昌彦、佐々木三男、庄司義明、高橋雅弘、田窪徹、野村俊郎、原田茂、福井晴次、堀井幹也、吉田長寿、吉田利治の各理事

＜監事＞

高原洋太郎、松岡憲四郎、山崎均の各監事

＜特任委員＞

片山正明、西井歳晴、林直樹の各特任委員

欠席：麻生太郎会長、伊藤信明、大神訓章、品田奥義、鈴木秀太、水谷豊の各理事、
内山英司、小倉恭志、上島正光の各特任委員

オブザーバー：山見博康裁定委員会委員長

議題

- (1) JBA改革委員会答申について
- (2) 後援名義の使用について
- (3) 共催依頼について
- (4) 用具・器具の認定について
- (5) 評議員候補者の推薦について
- (6) 大会要項について
- (7) 2014年度 男子日本代表チームについて
- (8) 2014年度 男子U-17日本代表チームについて
- (9) 2014年度 男女日本代表国際親善試合について
- (10) 3×3日本選手権大会について
- (11) 4ヶ国対抗について
- (12) 暴力行為等に関する裁定委員会の答申について

1. 定足数の報告

堀井理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(23名)の過半数の出席数(出席:17名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

2. 挨拶

深津会長職務代行より開会の挨拶があった。

3. 議事

議長は深津会長職務代行が務めた。

議案に先立ち、4月22日にFIBAバウマン事務総長が来日し、会談を行い、FIBAから次のような重要な厳しい指摘があったことが資料に基づき報告された。

(FIBAからの指摘内容の要旨)

昨年12月の来日以降約4ヶ月経過している。2020年東京オリンピックに向けた男子強化、JBAの組織改革については答申が出され議論が進んでいるが、男子のトップリーグ問題については具体的な進展が見られない。現在の日本のリーグ構造はFIBA定款および内規に違反しており、これはJBAに対して処分を科す根拠となる。NBLとbjリーグがJBAの指揮下のもとでFIBAの競技ルールを採用したピラミッド型のリーグ構造になるという明らかな前進がなければFIBAはJBAに対し半年以内に資格停止処分を科す権利を有している。FIBAは2020年東京オリンピックに向けてこれら諸問題の速やかな解決を望んでおり、可能な限り支援を行う。

引き続き、関連する事項として、Pリーグ関連の進捗状況が資料に基づき報告され、bjリーグから提出された要望書等の文書に誠意をもって対応し、会議を開催すべく進めているが、現在まで会議が開催できていない状況であることが報告された。

さらにFIBAの強化部長を務めるゾラン氏が5月22日～25日に来日し、強化関連の意見交換を行う他、bjリーグとの面談も予定していることがあわせて報告された。

これらについて、意見交換がなされ、まずはbjリーグとの会議の設定に全力を尽くし、リーグ、チームを含めて早急に新しいリーグ構造の具体的な議論を進め、FIBAの規約に基づく一元化されたリーグ構造の構築を目指すことが確認された。

(1) JBA改革委員会答申について (深津会長職務代行)

JBA改革委員会の答申として、資料に基づき、日本バスケットボール界の置かれている状況等の背景の説明があり、選手強化、収益強化、組織強化を改革の3本柱としたそれぞれの具体策が提案された。課題解決および発展に向けてこれらの具体策を今後実行していくこと、また、組織については役員改選後の新体制にこの内容を反映していくことが補足され、原案通り承認された。

<承認>

(2) 後援名義の使用について (堀井理事)

日本家庭婦人バスケットボール連盟から申請のあった「第13回全国ゴールデンシニアバスケットボール大会」および一般社団法人日本バスケットボール選手会から申請のあった「東日本大震災復興支援 日本バスケットボール選手会チャリティーイベント in 大船渡」の後援名義の使用許可について提案され、承認された。

<承認>

(3) 共催依頼について (堀井理事)

日本体育協会より「第18回日韓青少年夏季スポーツ交流事業」(主催: 日本体育協会)の共催依頼があったこと、また、前回同様これを承諾することが提案され、承認された。

<承認>

(4) **用具・器具の認定について**（堀井理事）

スポルディングジャパン株式会社から申請のあった7号ボールの新モデル2種(TF-250、2014 SILVER)について、検定の結果、基準を満たしていることからこれを検定球として認定することが提案され、承認された。

<承認>

(5) **評議員候補者の推薦について**（堀井理事）

評議員の辞任に伴い、三重県協会から新たに推薦された横山俊之氏および和歌山県協会から新たに推薦された中澤亨氏を評議員候補者として評議員選定委員会に推薦することが提案され、承認された。

<承認>

(6) **大会要項について**（庄司理事）

「第24回全国高等学校定時制通信制大会」、「第19回全国専門学校選手権大会」、「2014FIDジャパンチャンピオンシップ大会(第19回)」、「第13回全国デフ選手権大会」の4大会の大会要項が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(7) **2014年度 男子日本代表チームについて**（堀井理事）

2014年度の男子日本代表チームについて、今年度の活動方針およびスケジュールとともに候補選手26名およびスタッフが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(8) **2014年度 男子U-17日本代表チームについて**（堀井理事）

2014年8月に開催される「第3回FIBA U-17男子世界選手権大会」に出場するU-17日本代表チームの候補選手12名およびスタッフが提案された。尚、選手については5月19日から開催される第1次強化合宿で最終選考を行うことから、怪我を含む選手の変更については一任いただきたい旨の要請があり、あわせて承認された。

<承認>

(9) **2014年度 男女日本代表国際親善試合について**（吉田(長)理事）

「東日本大震災復興支援 男子日本代表国際親善試合2014」および「東日本大震災復興支援 女子日本代表国際親善試合2014」の大会概要および収支予算が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(10) **3x3日本選手権大会について**（吉田(長)理事）

3月26日～29日に開催する「第1回3x3日本選手権大会／3x3日本選手権都道府県大会」の開催概要および収支予算が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(11) 4ヶ国対抗について（星専務理事）

WJBLからの要請を受け、2010年以降協議が中断している4ヶ国（日本、中国、韓国、チャイニーズ・タイペイ）による女子のクラブチームのチャンピオンシップについて、東アジアバスケットボール連盟（EABA）の公式大会として開催するための協議を再開することが提案され、原案通り承認された。尚、大会の開催および協議に関する費用はWJBL負担で行うことが確認された。

<承認>

(12) 暴力行為等に関する裁定委員会の答申について（堀井理事）

千葉県の中学校（男子）の指導者による暴力行為について、裁定委員会における事実確認の結果、対象者を戒告とする答申が出され、原案通り承認された。

<承認>

4. 報告事項

(1) 一般報告（堀井理事）

2014年4月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) 総務部（堀井理事）

次回理事会は6月4日の開催となること、5月10日に都道府県代表者会議を開催したこと、5月14日（理事会終了後）には連盟・リーグ代表者会議を開催予定であることが報告された。また、JBA公式サイトへの不正アクセスがあったことおよびその経緯が報告され、結果として対応が足りなかったことについてお詫びがあった。

(3) 事業戦略部（吉田（長）理事）

2015年に開催される「第26回FIBA ASIA女子選手権大会」について、宮城県協会から開催希望があったこと、今後はFIBA ASIAとの大会要件の再確認を踏まえ、現地調査、大会経費の試算等を行い、6月21日の理事会で国内立候補地の決定を行う予定であることが報告された。

(4) 3x3推進室（吉田（長）理事）

2014年度3x3男子日本代表チームの選手選考結果および強化活動の中間報告、5月24日に予定している3x3男子日本代表チームの記者会見概要、都道府県協会代表者会議での3x3に関する概要、3x3のロゴについて報告された。

(5) 競技会委員会（庄司理事）

今年度の競技日程に一部変更があること、また、「第15回Wリーグ」および「日韓ママさん親善大会」の結果が報告された。

(6) 審判委員会（吉田（利）理事）

日本公認A級審判員および日本公認AA級審判員の強化合宿の開催報告及び開催予定、ヨーロッパでの審判研修に3名の審判員を派遣する予定であることなどが報告された。

(7) **テクニカル委員会**（佐々木理事）

コーチコミティーグループ関連では、コーチライセンス制度改定版の資料の更新を行ったこと、エンデバーグループからは、U-12ブロックエンデバーとあわせてトーステン・ロイブル氏による指導者研修会の開催の調整を行っていることが報告された。

さらに、前回の理事会で報告したU-15男子・U-18男子トップエンデバーの実施時期の移行については、各ブロック・都道府県との調整が不十分であったことから、U-18男子については今年度は従来通り行うこと、平成27年度からの実施に向けて改めて検討、調整を行うことが報告された。（U-15男子は今年度より実施時期を11月上旬から8月下旬に移行）

(8) **国体委員会**（野村理事）

今年度の長崎国体から実施する予備登録制度の内容および岩手国体以降の出場チーム数についてはチーム数変更前の3大会（岩手国体、愛媛国体、福井国体）とチーム数変更後の茨城国体以降を分けて検討を行っていることが報告された。

(9) **その他**（堀井理事）

6月の役員改選に向けた役員候補者選定委員会の開催予定および各ブロックに理事推薦の依頼を行う予定であることが報告された。

以上